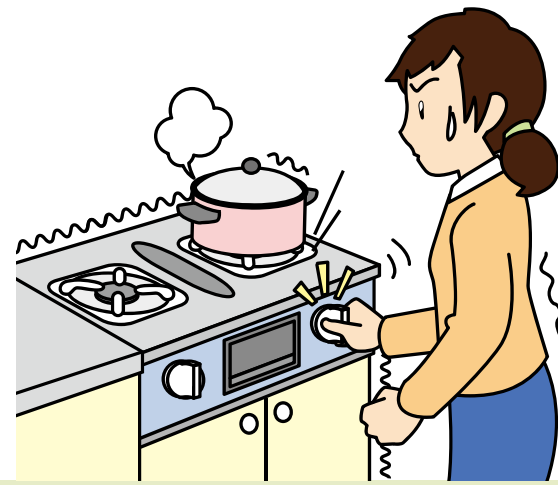


津波から命を守るために

① 地震が発生したら

自宅では

台所



- 揺れを感じてすぐに火を消せるときは、火を消しましょう。(大きな揺れの途中は危険です)
- 台所には食器棚や冷蔵庫、コンロ上の鍋など、危険がいっぱい。なるべく早く台所から離れましょう。

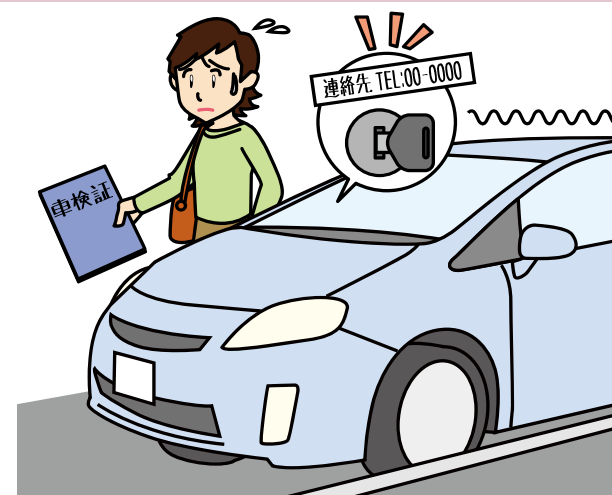
お風呂



- 風呂場やトイレは比較的安全な場所とされています。あわてて飛び出さず、ドアや窓を開けて出口を確保しましょう。
- 給湯器の火を止めましょう。

外出先では

車



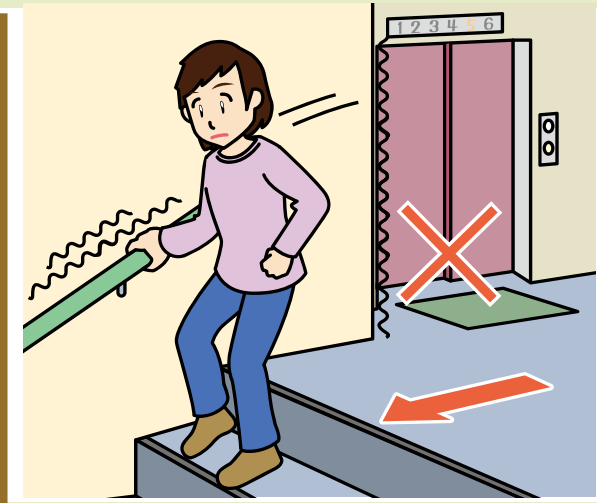
- 急ブレーキは事故の元です。徐々に減速し、道路の左側に止め、ラジオで情報を収集しましょう。車を置いて避難するときは窓を閉め、ドアはロックせずにキーを差したままにします。連絡先を残して車検証など貴重品を持って行きましょう。

寝室



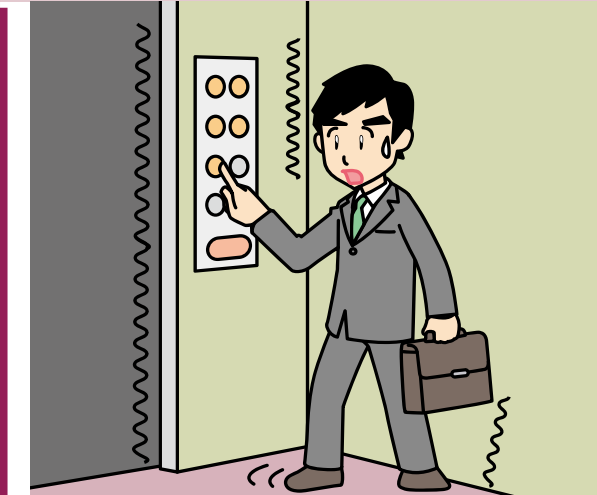
- ふとんやまくらで頭を守り、ベッドの下など、家具が倒れて来ないところに身をふせます。
- 普段から身近な所に懐中電灯や携帯ラジオなどを置いておきましょう。

家からの脱出



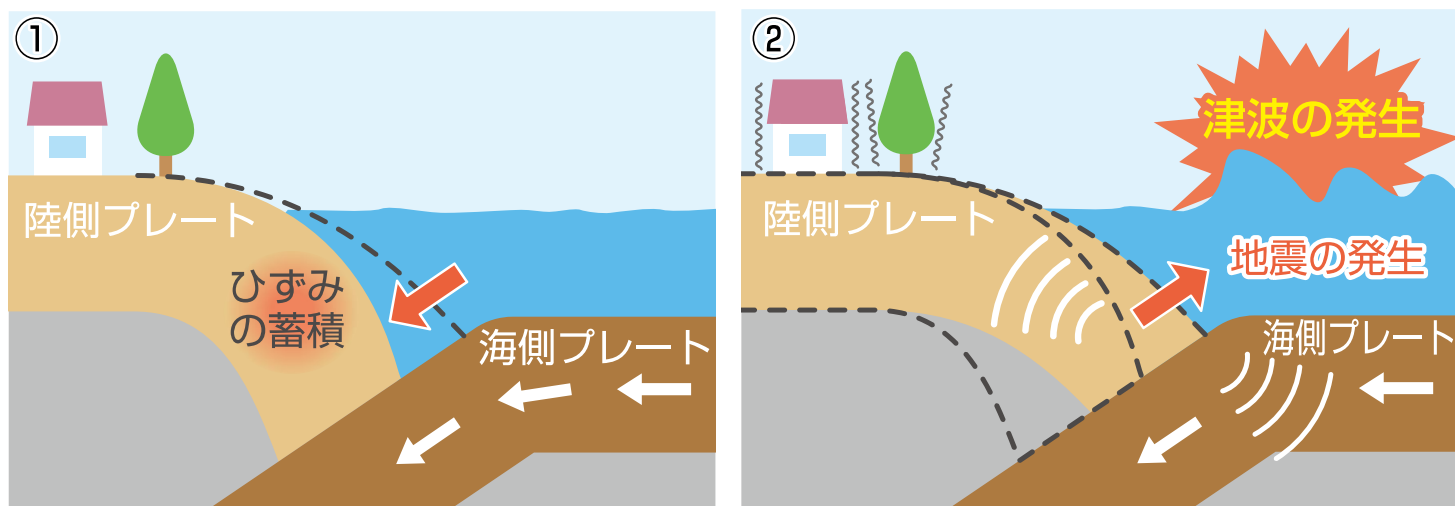
- 玄関ドアを開けて逃げ道を確保します。
- 玄関から避難できないときは、避難はしごやロープを利用してベランダから脱出しましょう。
- エレベーターは使わないようにしましょう。

エレベーターの中



- すべての階のボタンを押して、止まった階で降ります。閉じ込められたら、呼び出しボタンを押し続けましょう。

津波発生のしくみ



- ① 陸側のプレートの先端部が引きずり込まれ、ひずみが蓄積されます。
- ② プレート間にひずみが生じた場合、そのひずみが限界に達すると、プレートが跳ね上がります。この跳ね上がりによって大きく海面が変動し、津波が発生します。

津波警報とは

津波警報は、気象庁が地震発生時に、地震の規模や位置をすぐに推定し、予想される津波の高さを地震が発生してから約3分程度を目標に発表するものです。

これは、テレビ・ラジオ等のマスコミや携帯電話等を通じて伝達されます。

	予測される津波の高さ	
	巨大地震の場合の表現	数値での発表（発表基準）
大津波警報	巨大	10m超（10m～）
		10m（5m～10m）
		5m（3m～5m）
津波警報	高い	3m（1m～3m）
津波注意報	表記しない	1m（20cm～1m）